



日本聖公会
大阪教区教務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
総務局長 司祭 内田 望

(HP) <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> (e-mail) office.osaka@nsk.org

第460号 2018年4月29日発行

聖週に入り、3月26日月曜

日から31日土曜日朝の礼拝の第1日課(旧約聖書)では、哀歌が読まれました。哀歌は、エレミヤ書の次にあり、伝統的には「エレミヤの哀歌」と言われ、預言者エレミヤの手によるものだとされてきました。今は聖書学者によれば、哀歌は別の著者によるもの

精神的・信仰的主柱であった

神殿の崩壊と荒廃が描かれています。人々を襲った様々な苦難と人々の叫びが描かれ、心が痛みます。そして、それらの光景が、イエスの十字架の苦難とイエスを十字架にかけた世界の闇へ、またイエスを取り巻く人々の深い悲しみへと導いて行きます。さらに

いきます。

では哀歌は嘆きに留まっていますのかというと、そうではありません。哀歌3章22節以下には「主の慈しみは決して絶えない。主の憐れみは決して尽きない。それは朝ごとに新たになる。『あなたの真実はそれほど深い。主こそわたし

哀歌の嘆きは深いのですが、わたしたちが嘆きに留まるのではなく、悲しみや苦しみを言葉で言い表すようにと導いています。そして、その嘆きの中に、神による希望が与えられてくることを語っています。

イザヤ書にも「主なる神はすべての顔から涙をぬぐい御自分の民の恥を 地上からぬぐい去ってください。」(25:8)とあります。さらに詩編では、「涙と共に種を蒔く人は 喜びの歌と共に刈り入れる。」(126:5)と歌われています。



主教 アンデレ 磯 晴久

聖週から復活日へ

— 闇から希望へ —

と考えられています。聖週にはいろいろな人によって作曲された「エレミヤの哀歌」を、静かに聞き黙想することもよく行われます。

哀歌を読んで頂くと分かるのですが、紀元前586年ユダヤ民族に降りかかったバビロン捕囚と、その時起こったエルサレムの町、特に人々の

黙想しますと、イエスの時代からわたしたちの時代・現代へと導かれます。シリヤやイエメン、ロビンギャの人々をはじめ難民となつてさまよう

多くの人々のこと、現代日本においては、東日本大震災、原発事故、九州地震などの被災者のこと、またわたしたちの心の状況をも照らし出して

の受ける分」とわたしの魂は言い わたしは主を待ち望む。主に望みをおき尋ね求める魂に 主は幸いをお与えになる。……とあります。哀歌は嘆きに留まっているのではなくて、神がすべての災いを変えて下さるといふ希望へと、わたしたちを招く書でもありません。

す。

そして、イエス・キリストがわたしたちにしてくださったことに魂を開くようにと導かれていきます。それは主イエスの十字架と復活の出来事です。神の子イエスがわたしたちのために命を投げ出し、死の奴隷からわたしたちを解放してくださいましたのです。

ハレルヤ!
(いそ はるひさ・大阪教区 主教)

第120(臨時) 教区会 報告と議案

書記 執事 ペテロ 金山 将司



3月18日(日)午後3時から大阪教区主教座聖堂(川口基督教会)の会館3階で第120(臨時)教区会が開催された。議案取扱委員など教区会における諸委員の指名に続いて議員・代議員の点呼が行われた後、議長である磯晴久主教より開会が宣言された。議長による開会祈禱、演説に続いて、会計検査委員である春名英夫

さんによる会計検査報告が行われた。その後、議案の審議へ入り、2つの議案(以下参照)は可決され、午後4時03分に閉会した。当日の書記は義平雅夫司祭、金山将司執事、補助書記はヒュームユーワ ン聖職候補生。

また教区会終了後の懇親会では、教区礼拝における礼拝のあり方について、アンケートを基にして話し合われた。

※議案第1号「2017年度日本聖公会大阪教区決算承認の件」(提出者: 財政局財務委員会)

財政局長の太田幸彦さんから、一般会計収入の部では、堅信式信施金、臨時献金が減となり、641,047円の赤字となったが、支出の部でも教務局費などの出費が予定よりも少なく、最終的に余剰金が3,006,543円発生した旨報告があった。これを承認。

※議案第2号「2017年度日本聖公会大阪教区一般会計収支余剰金処理の件」(提出者: 財政局財務委員会)

余剰金3,006,543円の内、60万円を「特別積立金」、120万円を「青少年育成資金」、1,206,543円を「海外宣教資金」へ繰り入れる提案がなされ、承認された。
(かなやま まさし・川口基 督教会牧師補)

開会演説要旨

主教 アンデレ 磯 晴久

〈感謝〉

本日、ここに大阪教区第120(臨時)教区会を開催でき、すことを主に感謝致します。

この臨時教区会のために、それぞれの教会では主日の午後、様々なプログラムがある中、またご多忙中、ご参集くださいました教役者議員、信徒代議員、陪席の皆様、教区会のためにご奉仕くださっている書記局や教区事務所職員の皆様、そして会場を提供くださった川口基督教会の皆様に深く感謝申し上げます。

今教区会は決算を中心とした会議であります。寄せられ

ております各教会の堅信受領者総会資料を見ておきますと、それぞれの教会のこの1年間の物語、ストーリーがあることに気づかされます。皆様の工夫やご苦労が見えて来ます。教区でも抑えるべきところは抑えて、努力をしてくださっています。心より感謝申し上げます。

〈礼拝・伝道・奉仕〉

昨年11月より、大阪教区は3局、すなわち教務局を廃止し、宣教局・総務局・財政局の体制となりました。これは京都教区と特別協働教区となり、協働・合併を目指し、京

都教区のシステムに近づける意味もあります。ただし始まったばかりで試行錯誤しているところでもありますので、新しい体制が整いますようにお知恵をお貸しください。先日3局長会議で、3局の関係について話し合いました。教区・教会において一番大切な課題は「宣教」であり、それを支えるのが、総務と財政であることを確認しました。また教区・教会の働きとは何かについて話し合い、「教会問答33 問」わたしたちの務めは何ですか 答「全人類に対する神のご計画を理解し、神に呼び集められた民として、日々その使命を自覚し、喜びをもって自らを献げ、悪の力と戦い、礼拝と伝道と奉仕の業を励み行うことです」を読み、「礼拝・伝道・奉仕」が、わたしたちの務めの原点であることを確認しました。更に、わたしたち聖公会の教会は共同体であることを大事にする教会であること、すなわちアングリカン・コミュニオンとしての自覚が必要であることを確認しました。そして、こうした務めにわたした

ちを押し出す力は何かということ話を話し合いました。務めを支えているものは何か。それは、祈祷書173頁、聖餐式文中に「いづくにおいても、み子イエス・キリストによって、主に感謝し、主を賛美するのは、正しく喜ばしいことです。」とあります。主と共にある「喜び」ということが土台としてあることを確認しました。礼拝・伝道(宣教)・奉仕・共同体・喜び、これらのことをこの教区会でも、皆様と共に確認したいと思えます。

〈教区とは何か〉

さて今、大阪教区には22の教会、関係学校が3、病院が1、関係施設・社会福祉施設が4、NPO法人聖公会生野センター、患者と家族のための滞在施設守口ぶどうの家があります。そこに主教が1、教役者15(出向1)、そして退職教役者10の方が、各教会や関係諸施設の牧師・副牧師・チャプレン・囑託としてかかわってくださっています。皆様は、これらの教会・関係諸施設一つ一つ、教役者一人一人の名前を挙げることで

きるでしょうか。是非これらの教会や関係諸施設、教役者を覚えて祈って頂きたいのです。なぜならばこれがわたしたちの教区だからです。教区とは何か。これらすべてが、そして皆様お一人一人によって教区は成り立っていることを忘れないで頂きたいのです。教役者は派遣されている教会や施設のみならず、教区全体に責任があり、信徒も所属している教会だけでなく、22の教会や関係諸施設に関心をもって頂きたいのです。本日のように教区会として集まる意味は何か、また教区会後に教区礼拝について話し合いますが、教区礼拝に集まりますのは、大阪教区は22の教会と関係諸施設からなる一つの教会だからです。ですから教区会も教区礼拝もわたしたちにとって大切なことなのです。22の教会と関係諸施設に深い関心を寄せてくださるようによくお願いいたします。

〈教役者の不足〉

教役者の不足は、すべての教区に見られ、年々深刻になっていきます。適材適所と言うよりも、綱渡りのところで

人事を考えなくてはなりません。今回の人事でも、内田望司祭に西宮聖ペテロ教会と堺聖テモテ教会を兼牧して頂くという形になりました。内田司祭と両教会に負担をかけることになりました。今後は、

牧師給与の支払いなども考えますと、兼牧・管理という形をとらざるを得ない状況があります。また定住牧師がいないう教会がさらに増える可能性があります。一人の聖職がいくつもの教会や関係諸施設とかがわっておりますので、ますます忙しくなる教役者の心と体の健康が心配です。教区の組織のスリム化をどう図るか、教役者のチームミニストリー、教会間の協働をどうするか、引き続きの課題であります。

よく言われることですが、ピンチはチャンスです。現実を嘆くだけでなく、そこから何ができるかという挑戦へと神様は招いておられると信じて歩みたいと思います。

皆様には日々新しい献身者が与えられるようにお祈りをして頂いております。何人か手を上げて下さっている方も

ありますが、その方の人生もあり、「どなたでもさあどうぞ神学校へ」とは言えないことがあります。難しさを痛感しております。引き続きお祈りをよろしく願います。

〈共同墓地の購入〉

各教会の納骨堂の認可承認の手続きは進んでまいりましたが、学校法人や社会福祉法人と共に歩んでいる教会は、この認可承認が難しく、壁にぶつかっております。このまま手をこまねいているわけにはいきませんので、共同墓地の購入などを考えるため、調査を開始いたします。

山本眞司祭がこの3月31日をもって定年退職されます。今までの働きに心より感謝します。また金アンドレ司祭はこの3月31日をもって契約を終了します。3年間のお働きに感謝します。大変心配しておりますのは、入院中の山根貞夫司祭(3月22日逝去)と岩城聰司祭(3月28日退院)のことです。お二人のために

お祈りください。また山本直樹神学生が体調を崩し、休学中であります。ご加禱ください

い。

そうした中、3月16日にヒューム・ユーンワン聖職候補生がウイリアムス神学館を無事卒業され、4月より大阪教区での働きをスタートされます。本當にうれしいことです。共に力を合わせて歩みたいと思えます。お祈りとお支えをよろしく願います。

また6月から、大韓聖公会ソウル教区・柳時京司祭が宣教協働者として、大阪教区の群れに加わることになりました。以前立教大学で9年間チャプレンとして働かれ、この2月まで、大韓聖公会では、日本聖公会でいいますと管区の総主事に当たる働き等を歴任されてきました。豊かな賜物を持った方ですので、期待してその着任を待ちたいと思えます。

主の豊かな導きと祝福が、わたしたち大阪教区と教会、関係諸施設、それにかかわるすべての人々の上にありますように。

(いそ はるひさ・大阪教区 主教)

教区礼拝のこれからを考える 教区会懇談会で意見交換

司祭 ペテロ 竹林 徑一

評価・批判、今後に向けての工夫やアイデア、企画方法など、色々な視点から信徒の皆様

大小の4教会の代議員の方に、検討結果の忌憚ない発表をしていただきました。

20近い教会からの情報は、かなりの分量にのぼりますので、信徒・教役者7人からなる「検討委員会」を立ち上げて、11月の第121(定期)教区会に分析結果を答申することになりました。大阪教区成立100周年を2023年に迎える時でもあり、この貴重な情報

が今後に生かされるよう願っています。まずは、今年の秋の教区礼拝に一人でも多く参加する気運を、教会の現場で盛り上げていきましょう！(たけばやし けいいち・常置委員、大阪聖ヨハネ教会 牧師、川口基督教教会管理牧師)

3月18日(日)午後開催された第120(臨時)教区会終了後、昨年から懸案の教区礼拝についての懇談会が、約1時間持たれました。始まりの時間が分らないぐらい以前から、大阪教区では秋の恒例として教区礼拝を実施し、教区を挙げて捧げてきました。

しかし近年は、担当チームの努力健闘にもかかわらず、参加人数に低下傾向が見られ(昨年は400人を割る状態)、毎年開催することの是非を問う声さえ聞かれます。そこで常置委員会の提唱により、第119(定期)教区会で「教区礼拝を今後どうするか」というテーマを、各教会の代議員・教役者がそれぞれの教会へ持ち帰り、集会などで話し合いをして、3月にその結果を持ち寄って共に考えることにいたしました。



京都・大阪合同の聖職養成委員会 春のセミナーに感謝

執事 アンデレ 江渡 由直

3月21日(水・休)に芦屋聖マルコ教会で大阪教区・京都教区合同主催の春のセミナーが開催されました。

1プ、⑦必要に応じた福音伝道、⑧愛情の籠った人間関係の8つの不可欠な特質が紹介されました。私自身の働き方への気付きとなりました。

午後は「現場に遭わされて」と題して、二人の執事から実践報告を受けました。

午前の中で「京都・カナダ・大阪に遭わされて」の中で、世界の7万の教会に問うた教会の健全性を測る「人間ドック」の診断結果が示されました。①力づけるような指導性、②賜物を重視する、③情熱的な霊性、④機能的な管理体制、⑤心を奮い立たせ

金山将司執事からは、主教座聖堂での超多忙な日々の中で、交わりが増えたことが嬉しかったと。また、自分でも何かしようとして頑張ったが出来ないことは、諦めるのでなく委ねることだと気付き、

今はどんな状況でも与えられた仕事を、教会を運営する、守っていく、という心情が吐露されました。柳原健之執事はこの1年間の富山での教会・附属施設での奉仕を振り返り、信徒の構成、教会と教区のしがらみ、施設での関わりから、自分の役目は教会では信徒さんが力をつけるために努力すること、また施設での関わりから牧会を進めたい、との決意をお聞かせいただきました。3人の方々のお話をお聞きさせていただき、ヘブライへの手紙12章「主による鍛錬」に思いを致す1日でした。感謝。(えと よしなお・京都教区 桑名エピファニー教会・四日市聖アンデレ教会牧師 補)

ウイリアムス神学館卒業式

魅力ある聖職者に、とエールを送る

マリヤ 井上 美津

春の冷たい雨が降る3月16日(金)、京都教区主教座聖堂に於いて、ウイリアムス神学館の卒業礼拝が執り行われました。

荘厳なオルガン演奏の中、緊張気味のヒューム卒業生と永野拓也修業生(神戸教区)が入堂です。

神戸教区主教・小林尚明師父の説教は、其々の人となりの紹介から始まり、ヒューム



ヒューム卒業生(左)と永野拓也修業生

場に、温かでありながら霧囲気の中、大阪教区の中、各担当者、出身教会、実習教会、勤務教会各々が、お祝い・励ましの言葉等をご本人に伝えエールを送りました。神学館教授の浦地洪一司祭は「自分の経験上、神学館で学

卒業生に対しては、恵まれた職場や環境を捨てられた勇氣と決断、3年間の勉学に励まれ、48歳の今、この日を迎えられた努力を誉めて下さいました。また、両聖職候補生には「自分は何でも出来るとは決して思わないこと。謙虚な姿勢で学び続けて行き、魅力ある良き聖職者になって欲しい」と語られました。

祝賀会は教区センターを会場に、温かでありながら霧

んだ事は6カ月で枯れてしまった」との言葉に、黒田裕裕長は「私は3カ月でした」と話され笑いを誘いました。

4月から2教会・2カ所の学校での勤務となり、勉強や準備の忙しい日々が始まりま

卒業・御挨拶

お支えを有り難うございました

聖職候補生

ヒューム ユーワン

3月16日(金)、本科生として、私はウイリアムス神学館を卒業することができました。皆様の日々のお祈りとお支えをどうも有り難うございました。

神学館での勉強と大阪教区の中の働きは異なりますが、教会での働きに関しては、神学館で実質的な経験を積むことができました。何故なら、主日実習生として大阪教区の三つの教会及び京都教区の一つの教会に勤務し、また大阪教区の夏期実習を通して三つの教会で働いたからです。4月より、大阪教区の中

す。3年間住人として、卒業後は勤務地として住み続けられる恵我之荘聖マタイ教会から出席した私達4人の信徒は、親のような気持で臨席しました。感謝と喜びと共に、健康面の心配を致しておりますが、

全てを神さまに委ね、小林主教の「この二人の為に祈り続けて欲しい」との言葉通り、祈り支え続けて参ります。(いのうえ みつ・恵我之荘聖マタイ教会信徒)

は同様に重要であるので、「すべての民をわたしの弟子になさい」(マタイ28:19)を実践するために一生懸命努力したいと思えます。(堺聖テモテ教会勤務、恵我之荘聖マタイ教会主日勤務、桃山学院教育大学、プール学院短期大学出向)

二つの教会、プール学院、桃山学院で働くことになり、更に経験を積んで、神の福音を宣べ伝えたいと思えます。

私たちは聖公会の信徒として、特別な立場にあります。つまり、聖公会において、聖餐式だけではなく、中心ではなく、聖書の御ことばだけが中心でもありません。私たちにとっては、聖餐式及び聖書

第24回 関西 JOCS バザー

使用済み

切手をもってバザーに行こう!

日時 5月12日(土) 午前11時~午後3時

会場 大阪聖パウロ教会

連絡先 JOCS 関西事務局 06-6359-7277

ACWCJ 関西支部一日研修会と世界祈禱日
超教派の集い 京都と大阪で開かれる

へレナ 杉山 瓊子

毎年2回、教派を超えた女性の集いが開催され、教区婦人会の呼びかけで共に学び祈る機会が与えられています。

昨年10月6日(金)には「キリストに結ばれて」くあなたがたはキリストにおいて満たされているのです」を主題に、アジア教会婦人会議日本委員会(ACWCJ)第31回関西支部一日研修会が在日大韓基督教会京都教会に於いて開催されました。この日は、アジア19加盟国の中からミャンマーの教会女性により作成された式文を用いてのDAY礼

覚えて世界的なネットワークを持つ女性が共に祈り行動を確かめる日です。世界

拝、聖書研究では(サムエル下21・13、14)を学びました。引き続きキリストコインのアップールがあり、ACWCの働きを直接支援する署名キャンペーンのお願いがありました。署名キャンペーンは、当日募金箱を用意しましたので、積極的に協力していただきまして微笑ましい光景を見ました。今や婦人だけでなく教会のメンバーにも賛同を得ています。出席者は276人、うち聖公会51人(大阪教区18人、京都教区18人、神戸教区15人)でした。席上献金は253,240円、署名キャンペーンの募金は287,100円あり



ました。あいにくの雨降りにもかかわらず、多くの方々と共に祈り賛美できました。また、毎年3月の第1金曜日は世界祈禱日。一つの課題を

なりました。あいにくは福音であると語られました。参加者143人、うち聖公会41人、献金額は123,750円でした。8教派2団体が共に祈り賛美しました。(すぎやま ようこ・尼崎聖ステパノ教会信徒)

日本聖公会 大阪教区婦人会

昇天日礼拝

日時 5月10日(木) 10時30分～

会場 川口基督教会

司式 主教 アンデレ 磯 晴久

説教 司祭 ヨハネ 古澤 秀利

献金先：小名浜聖テモテ幼稚園
(遊具購入支援)

昼食後、第94回 教区婦人会総会

大阪・京都 合同

ともに祈る 2018 聖餐式

～ 平和への道を歩む者としてください～

(沖縄週間をおぼえて)

日時 2018年6月30日(土)

13:30～

場所 大阪教区 聖贖主教会

司式 ステパノ 高地 敬 主教 (京都教区)

アンデレ 磯 晴久 主教 (大阪教区)

説教 ダビデ 上原榮正 主教 (沖縄教区)

主催 大阪・京都特別協働教区運営委員会

協力 大阪教区 礼拝・音楽委員会

京都教区 礼拝部

(お願い) スリッパ等の上履きをご持参下さい。

桃山学院教育大学が

初めての入学式を挙行

桃山学院教育大学チャプレン 司祭 ヤコブ 松平

2018年4月3日(火)、桃山学院教育大学(以下、桃教大)の入学式が初めて挙行された。表向きはプール学院から桃山学院への法人移行に伴う名称変更だが、実質的には新大学の開設である。当然、

功

同じ場所に5年遅れで生まれた桃山学院は、一卵性双生児と言っても過言ではない。昔のように弟分の桃山学院が姉のプール学院と同じ敷地を共有して教育の場とすることに、不思議な神の摂理を感じざる



した日本初の特例措置である。さて、桃教大発足の準備段階では少子化という問題がつきまとい、学生募集に大きな

不安の影を落としていたが、蓋を開けてみると最高倍率8.5倍(健康・スポーツコース教育)で、各学科の定員をはるかに超える応募者と入学者があった。近畿圏で唯一の私立教育大学という、希少価値が功を奏したのだろうか。あるいは、桃山の営業力によるものなのか、または神の助けによるものなのか、その詳細はわからないが、多くの関係者が胸をなでおろした素晴らしい結果となった。入学式では梶田叡一学長からの式辞で大きな拍手を得、学院長である磯崎久主教のお祈りで新入生への祝福をいただいた。これは単なる入学式ではなく、桃山学院の新しい第一歩を踏みしめる飛躍的な、そして歴史的な式典であったと感じる。



スノードロップ

復活日を前に、主住宅の庭にスノードロップの花が咲きました。誰が植えて下さったのでしょうか。雪はありませんでしたが、かわいい白い花が顔を見せてくれました。それを見つめながら、わたしはドイツに伝わるスノードロップの次のような素敵なお話を思い出しました。

創造主なる神さまは、天地創造の折、空には青、雲には灰色、土には黒褐色、木の葉

には緑、花にはあらゆる色といたった具合に、全ての物に色を与えられました。すべてのものに色付けが終わったと思つたその時、遅れて来た雪がおずおずと神さまのもとへとやってきて、「わたしには、まだ色がありません。このままでは、風のように人目につかないものになってしまいま

誓いの 露たがわねば…み恵みの雨よ 枯れ野の草の 色なき この身に ふりかかりてよ」と歌います。わたしたちも人生の中で、困難の中、枯れ野の草のように色を失うことがあります。イエスは十字架の道を歩まれ、わたしたち一人ひとりへの大きな愛を現して下さいました。それは色なきこの身が、自分にふさわしい色を取り戻すため、神の愛によって色付けされるためでした。神の愛のシャワーを頂きましょう。

(主教 アンデレ)

聖歌468番では「愛のみ

ら一つ分けてもらいなさい」

さまは、「花はいろいろな色を持っていてから、色を花から一つ分けてもらいなさい」

からスノードロップのかわいい花が咲くというお話です。

を頂きましょう。

学院教育大学・プール学院 短期大学 チャプレン、守口ぶどうのいえ 施設長)

神でないものを神とすることを「偶像崇拜」と呼ぶならば、私の青春時代は偶像崇拜の連続であった。空の青さ、夕陽のきれいさ、はじめて行く喫茶店、はじめて聴く音楽、友だちと腹を抱えて笑い合った日々。ワルさも相当したが、毎日毎日（勉強以外の）すべてのことに「全身全霊」で没入してしまうような時代が私にはあった。グラウンドに降り注ぐ陽射しや校舎から見える遠くの山なみ。目を閉じればまるで昨日のこのように思い出す。それらを神だと思ったことはないけれど、そこで過ごした一日一日は、私にとって紛れもなく「すべてのすべて」

聖職リレーエッセー ②



偶像崇拜のすゝめ

司祭 ヤコブ 義平 雅夫

でも足りない何かなのだ。時間が経ち、自分が10000パーセント捧げていたものは、つまりは偶像であったと思う

「君は100パーセント」という歌が流行ったが、青春時代に出会うものは自分を100パーセント捧

であった。薬師丸ひろ子が好きだった。友だちと学校を抜け出した。制服のまま入った映画館。深夜まで飽き

もせずスクリーンを彼女を見つめ続けた。私にとって彼女はまさにアイドル（＝偶像）だったし、青春の日々は光そのものであった。

ようになった。それは自分が破れるような苦しい体験を通してであったが、それではその偶像に興味がなかったのか、無駄だったのかというところ、必ずしもそうは思わない。あの偶像崇拜の日々があつてよかつたと思う。あの時代にたつぷり浴びた太陽の光が、今も私の人生をほのかに照らしてくれているのを感じるから。偶像とは「無い方がよい」ものではなくて、それが偶像として消えていくことを通して神の素晴らしさを伝えてくれるものなのかもしれない。あの青春の偶像が輝いていなくなつたら、それらを失う苦悩を経験しなかつたら、私は神にも出会わなかつたと思う。

（よしひら まさお・大阪聖アンデレ教会牧師、桃山学院、中学校高等学校チャプレン）
* 次回はフランチェスコ成岡宏晃司祭にお願いします。

プール・相馬つながるプロジェクト
祈り、つながり、分かち合う

司祭 成岡 宏晃



東日本大震災から7年目の3月11日（日）、震災直後から毎年、桃谷駅前商店街とプール学院中学校・高等学校の共催で行われてきた桃谷駅前商店街・街頭募金活動に、プール学院中学校・高等学校の生徒35人が参加しました。

2時過ぎに学校の正門横に設置されているメアリーズペルを7回点鐘させ、生徒、教職員、PTA役員が、犠牲者の魂の平安と、今なお過酷な日々を過ごしておられる方を覚えて、祈りを合わせました。

2時30分から約1時間、桃谷商店街のマスケットキャラクタも登場し、約15万円の募金が集められました。途中、震災が起こった2時46分には黙祷をささげました。

商店街の方々の温かい気持ち、通行される方々からの励ましの声などに触れ、3月11日のことを忘れないように「プール・相馬つながるプロジェクト」をもっと広めていきたいと考えています。

集められた献金は、福島県相馬市で「子どもたちの心のケア」のために活動を続けているNPO法人「相馬フォロアーチーム」の動きのため、また相馬市立磯部中学校の生徒さんと、プール学院中高生徒の交流のために用いられます。

（なるおか ひろあき・プール学院中学校・高等学校チャプレン、大阪城南キリスト教会牧師）



新しいつながりを求めて

3月3日(土)に川口基督教会にて、Gループが開催されました。今回のワーク内容は、子ども部屋のリフォームで、子ども達がすごしやすいようにタイルカーペットの張り替えと部屋の清掃をしまし

青年のつながり

クリストファー 小西 宏平

た。大阪教区の青年以外にも仕事で引っ越ししてきた他教区の青年など、10人の参加がありました。ワークの規模にもよりますが、大阪教区内の数名の青年しか集まらない時期もありました。最近では今回のように、人手がいるワーク内容の時は青年が集まるようになってきました。

「Gループ」のループには、つながるという意味があります。大阪教区内の青年同士が時間をかけ、まだ出会っていない青年ともつながれ、更に大きなつながりになりたいと願います。私たちの世代の青年達は、入学や転勤で生活環境が変わり、他教区から大阪教区に来る場合があります。Gループのつながりがあれば、知り合った青年の教会で一緒に礼拝したり、一緒にGループに参加できます。今回のよ

うに、仕事や旅行で大阪に来たから参加してくれた青年が今後も増えてくれれば嬉しいです。Gループはこれからもつながりを作ることを大切にしていきたいです。今回のワークを与えてくださった川口基督教会の方々とつながる機会を与えてくださった神様に感謝します。今後大阪教区のそれぞれの教会の青年を知りたいので、更にワークを通して青年達と出会いたいです。

2月23日(金)〜25日(日)に京都府宇治市で行われた第6回U26全国集会是、主題聖句を「パンは一つだから、わたしたちは大勢でも一つの体です。」(コリントI10・17)にし、「響」というテーマにしました。参加者それぞれの中にある個性を「響」と考え、自分自身の「響」を伝え、他の参加者からの「響」を聞くことによって、お互いに共感

し影響し合うことができ、つながりを深め合えるかと思われました。集会のプログラムでは「響」についての分かち合いや、ローマの信徒への手紙のキリスト教的生活の規範についての聖書研究、体を動かし交流するため運動会等を行いました。分かち合いのプログラムでは、それぞれの参加者の話を聞き、自分自身も新しい発見ができ、お互いの中にある「響」を共有するこ

とができました。私達U26全国集会を開催する目的の一つに、運営理念の「知る・つながる・教会の絆」の「つながる」があります。学校を卒業したり、就職することで生活環境は変わります。そのことにより、教会に定期的に行けなくなる、青年活動もできなくなると不安に思うこともあるかもしれません。実際、私自身、学生の時に、教会の活動が今後できなくなるかもしれないと思うことがありました。しかし、U26でできたつながりがあったから、どれだけ忙しくなっ

ても教会と離れずに生活することができています。どの青年もいつかこのような問題に直面するかもしれませんが、この「つながり」があれば教会とずっとつながっていられることに気づいて欲しいのです。日々私達青年のために祈りとお支援をしてくださってありがとうございます。私たちは皆様のサポートなしでは活動できません。今後ともU26にご支援とお祈りをよろしくお願いします。(こにし こうへい・社会宣教委員、U26代表、高槻聖マリヤ教会信徒)

U26 たがいに響き合う

たがいに響き合う



定年退職となりました！

司祭 施洗者ヨハネ 山本 眞

やっとこの日が来ました。とうとうこの日になりました。不思議な感覚です。何が変わるわけでもないのですが「しなければならぬこと」がなくなつて「これは自由ということなのだろうか」と自問し

ています。日曜日は、主教様から行けと言われた教会へ行って御奉仕をします。でも月曜日から土曜日までどうしようかとワクワクしながら、しかし戸惑っています。あちこちに出かけてみよう、体も動

と心に決めていたのに、いざ試験が終わると、さてそれはいったい何だったのだろうか、そんなに大したことではなかったような、あの感じでした。ともかく、定年をめでたく迎えました。健康に気を付け、日曜日のお手伝いをいつまでも楽しみたいと願っています。43年間、ありがとうございます。

日本聖徒アンデレ同胞会 総会開く
日本聖徒アンデレ同胞会 (BSA) は2月24日(土)に東京教区会館で第102総会と理事会を開き、次の役員を選出しました。
次期会長 足立征三郎兄 (聖マーガレット教会)
副会長 尾崎茂雄兄 (横浜聖アンデレ教会)
木島 出兄 (阿佐ヶ谷聖ペテロ教会)

お別れのごあいさつ

早いもので、私が大阪に来てから3年の月日が流れました。この期間、無事に過ごすことができたのは、みなさまが見守り助けて下さったおかげです。私はいつも、キリストの教

えを広げること考えています。そのために、教会が地域コミュニティの中心になるように地域住民を招待し、勤務校の先生や学生を招待しました。教会を老若男女が集う場所にして、ここからさらに

このようにして来られた方の中には、教会に来るのも聖書を読むのも初めてだとおっしゃる方もいました。そのような言葉を聞いて、教会の発展の可能性を感じました。私は大阪から離れ、神様か

ら与えられた新しい場所に行き、そこでイエス様の教えを広げていきます。みなさまもご自分の信仰を守り、教会を育てて下さい。温かいご支援と神様からの祝福に感謝し、これからも末永く伝道者としての道を歩んで行きたいと思っています。
(キム アンドレ ジョン・米国聖公会司祭、前大阪教区宣教協働者、富田林聖アグネス教会前副牧師、恵我之荘聖マタイ教会前副牧師、プール学院前チャプレン補)



退任あいさつ 教会の発展を期待しつつ

司祭 金 アンドレ 正

なお、創立90周年記念誌「希望のBSAをめざして」を大阪教区事務所にお送りしております。お目通しの上、ご意見など頂ければ幸いです。
一般社団法人 日本聖徒アンデレ同胞会 BSA通信担当理事 吉松英美
<http://www.brotherhood-st-andrew-japan.org/>

春のJ's キャンプ 聖週に「十字架の道行き」を共有

司祭 ヨハネ 古澤 秀利



3月26日(月)から28日(水)まで春のJ'sキャンプが開催されました。参加者は22人で、このうち大阪からは3人が参加しました。会場は滋賀県大津市北小松の京都復活教会信徒研修所(北小松キャンプ場)で、ここは毎年小学生キャンプが開催されている場所です。昨夏からは夏のJ'sキャンプの開催地にもなりました。J'sキャンプは中高生の年代を対象としたキャンプで、

毎年春と夏に行われます。春のキャンプは例年「Meet & Mission」をテーマに、日本各地の宣教の場を訪れてキャンプを行っていきます。キャンプを通して新しい仲間や今まで知らなかった事柄に出会い、気づきと想いを同年代で共有していきます。今春は参加者にとって身近な宣教の場が開催地となりました。
日程が聖週に重なっていることもあり、「十字架の道行

きの祈り」からキャンプが始まりました。キャンプ場内に14のステーションを設け、各ステーションで聖書のみ言葉に耳を傾けて祈りをささげました。翌日にはグループに分かれた参加者が、各ステーションの出来事を寸劇で発表しました。聖書を読み話し合っただけで作られた寸劇は、十字架の道行きの各場面に対する参加者の理解や解釈が表れていました。笑いも感動もあり、どれも素晴らしい作品でした。
寸劇の準備も含めて、3日間の時間の使い方は参加者が話し合っただけで決められました。ゲーム大会から食事の時間やメニュー、そして礼拝までの全てを参加者全員で作っていきます。料理も礼拝も手探り状態から始まりますが、出まわしの上で、また豊かな礼拝が味わわれました。まさに参加者それぞれが賜物を活かしながら作り上げるキャンプです。夏もJ'sキャンプは開催されます。ぜひ参加してみてください。
(ふるさわ ひでとし・大阪 聖愛教会牧師)

み国が来ますように 世界的な祈りの波に参加しましょう 2018年5月10日から5月20日

イエス・キリストを人々が知ることが
できるよう祈りましょう

カンタベリー大主教ジャスティン・ウェルビー師が、全世界のクリスチャンに、より多くの人々がイエス・キリストを知ることができるよう祈る世界的な祈りのムーブメントへの参加を呼びかけています。祈りの波の期間は昇天日から聖霊降臨日の間で、2018年5月10日から5月20日です。

2018年度大阪教区 在日学習会シリーズ

日時：5月16日(水) 午前10時30分～

内容：① 生野コリアタウンフィールドワーク
② 朝鮮学校の校長先生による講話(予定)

集合：10時30分 JR 鶴橋駅中央改札口

備考：フィールドワークの後、コリアタウンの食堂にて昼食(実費1000円程度)

※切：食堂への予約の関係上、5月9日までにご連絡ください。

連絡先：聖贖主教会・奥村貴充司祭

06-6302-7945、090-7480-4053
m27ce68555m7dm@i.softbank.jp

主催：在日韓国・朝鮮人宣教協働委員会

世界の窓

○カンタベリー大主教が英国国会でコンゴでの平和介入を要請

カンタベリー大主教ジャスティン・ウェルビー師父は英国の上院議員のひとりとして、

英国政府に対して、コンゴ民主共和国での暴力と抑圧の増大に対処するための、平和的抗議に関する反応について質問した。質問の中で大主教は、

コンゴ聖公会のザカリア・マシマンゴ・カタング大主教と話しした電話会談の内容を紹介し「国中のいたる所が無秩序化しキンシャサの中央政府は制御不能に陥っている。進行中の内戦は200万人の難民を生み出し計り知れない苦しみの中にある。そしてこの20年

で400万人もの犠牲者が出ている」と説明した。また、コンゴでの国連による平和維持と安定化活動部隊—MONUSCO—の弱体化の危惧を訴え、その部隊を強化することがコンゴの最も貧しい人々に仕えることにつながっていくことを強調し、民主的な選挙の実

施に英国が介入する必要性を述べるなど、実践的な平和への道筋を要請した。

(Anglican Communion News Service, March 7th, 2018)

○ポリネシア教区…女性への暴力に対抗して

ポリネシア教区のセレイマ・ロマロマ司祭による手記は、以下の通りである。フィジー島は、女性虐待の割合が世界の中で最も高い国のひとつである。調査によると女性の3分の2が、近親者から肉体的または性的虐待を受けていると推測される。言葉による精神的暴力も含めればその割合は74%に上昇する。また、15歳以上の女性の31パーセントが配偶者以外から肉体的または性的虐待を受けていることがレポートされている。そして、トンガとサモアも同様に高い割合である。女性に対する暴力は、世界的に人権侵害として扱われているが、起訴されることの少ない犯罪のひとつである。この暴力の持続化の背景には、教会が沈黙

しているという認識がある。教会は女性虐待が悪いことであるという十分な教えをしてこなかったし、また女性虐待を正当化するような誤解を生む特定の聖書箇所を訂正してこなかった。多くが教会を暴力の仲介者と見ているし、変化に対抗する保守的勢力と見なしている。さらに悪いことには自らの共同体で起こる暴力を隠蔽、あるいは否定するのである。過去7年間、ポリネシア教区では信仰に基づく共同体の中で、この悲劇に対抗する預言的な声をあげ続けた。我々は行動を起こすための義務が福音にあると信じている。

(Anglican Communion News Service, March 16th, 2018)

司祭 ヤコブ 松平功
(まつだいら いさお、桃山学院教育大学およびプール学院短期大学チャブレン、守口ぶどうのいえ施設長、守口聖オーガスティン教会牧師)

公 示

救主降生2018年4月1日
日本聖公会大阪教区 教区主教
主教 アンデレ 磯 晴久

司祭 ヨハネ 奥 康功 に関する2月1日付の公示を取り消し、改めて4月1日付にて下記の人事異動を発令します。

司祭 ヨハネ 奥 康功 (退)
4月1日付で大阪聖ヨハネ教会、聖ガブリエル教会、堺聖テモテ教会において囑託司祭として勤務することを委嘱する。ただし、法規53条第2項に基づき、任期を1年とする。

以上

教 区 の 動 き

常置委員会報告

- 2月23日(第4回定例)
- 2月28日(第5回臨時)
- 3月22日(第6回定例)

I. 主教報告

*横浜教区では3月3日に主教選挙が行われたが選出され

ず、改めて日本聖公会総会(6月)で選挙が行われる。三鍋裕主教は3月末退任。その後は中部教区・渋澤一郎主教が管理される。

*東京教区・大畑喜道主教の病气退職に伴い、3月の定期教区会後に主教選挙が行われたが当選者が得られなかった。2回目の選挙は未定。

*4月より桃山学院教育大



司祭ヨハネ山根貞夫師（大阪教区退職司祭）が逝去されました

山根司祭は、去る3月12日（月）にケアハウスはくあい自室にて転倒し、大阪市内の病院に緊急入院されましたが、3月22日（木）午前4時に同病院にて90歳の生涯を終えられました。翌23日（金）に芦屋聖マルコ教会で通夜の祈り、また24日（土）に葬送式が同教

会で行われました。司祭は大阪教区主教アンデレ磯晴久師父で、説教は通夜の祈りが磯主教、葬送式はヨハネ木村幸夫司祭が担当されました。魂の平安をお祈りします。また残されたご遺族に慰めと励ましがありますようにお祈りします。（編集部）

学がスタート、プール学院短大は3年間同居の形（共存）になる。
*ヒューム・ユーンワン聖職候補生はウイリアムス神学院を卒業。山本直樹神学生は、病気療養のため同館を休学、科目履修生として3月で終了。

運営委員会」において、合同礼拝の開催を準備（6月30日（土）、13時半、於大阪教区聖贖主教会）。高地敬主教、磯晴久主教による司式。説教は沖繩教区・上原榮正主教。
*桃山学院より、現在大阪聖アンデレ教会がある土地に、新しい校舎を建築する計画（教会はこの建物内に設置）があり、同教会で諸問題への対応を検討中。

III. 協議事項

*2月に台湾東部花蓮で発生した地震被害に対して、台湾聖公会に見舞金を送ることに

同意。
*教区礼拝の持ち方について、今年度及び来年以降について検討。臨時教区会終了後の懇談会での意見交換も踏まえて検討を加えていくことを確認。
*成岡宏晃司祭より今夏香港で開催される「テゼ」（信頼と和解の巡礼）に参加希望の要請がなされ承認。
*主教諮問により、大韓聖公会ソウル教区・柳時京司祭を宣教協働者として受け入れる件につき検討、面談の結果これに同意。
*教区事務所職員として、太田幸彦氏（聖ルシヤ教会信徒、

現財政局長）と契約（今年6月より勤務、11月から主事）を承認。
*教区合同納骨堂（墓地）の設置の可能性について、管財委員会での検討を要請、情報を共有することを確認。（以上）

教会・施設の動き

守口ぶどうのいえ
○この度、毎日新聞社会事業団から「小児がん征圧募金」の贈呈先11団体のひとつとし

て選ばれました。去る3月8日に贈呈式があり、金50万円が贈られました。心より神の恵みに感謝いたします。

大阪聖パウロ教会
○当教会4階に活動拠点を置く「特定非営利活動法人・関西NGO協議会」は、30周年記念レセプションを開催した。加盟50団体や関係大学・協力企業等81名が参加した。席上、当教会の施設提供に対し、感謝状が贈呈された。

2018年度 大阪教区 大阪教区と台湾聖公会 協力宣教キャンプ

日程：2018年8月21日（火）～8月27日（月）

費用：18,000円（食事・保険）
内容：こどもの里 荘保共子氏の講演
コリアタウン見学、高野山周遊、他
宿泊：東光学園

お問合せ先：日本聖公会 聖贖主教会
Tel. 06-6302-7945
主催：大阪教区宣教局台湾交流委員会

教区関係教役者
逝去者記念聖餐式

◇ 5月9日 (水) 午前 10 時 30 分

於：主教座聖堂 (川口基督教会)

説教者 ウイルソン ウォーレン司祭

司 祭 米村 健治 (1979.5.15)

伝道師 小幡 久能 (1961.5.24)

司 祭 アーネスト・ゴードン・ハッチンソン (1973.5.29 英)

宣教師 メーベル・C・バックス (1984.5.30 英)

◇ 6月13日 (水) 午前 10 時 30 分

於：主教座聖堂 (川口基督教会)

説教者 ウィリアムス 竹内 信義司祭

司 祭 ロバート・マルコム・ミルマン (1945.6.3 加)

司 祭 オーガスチン 芦澤 光雄 (2002.6.4)

司 祭 チャールズ・フレデリック・ワレン (1899.6.8 英)

司 祭 ウィリアム・ペンジェリー・バンコンブ (1942.6.10 英)

司 祭 ジョージ・テンプシー (1960.6.11 英)

司 祭 ダニエル 植村 信久 (1980.6.13)

司 祭 ステパノ 橋本 節 (1996.6.15)

司 祭 アーウィン・ヘンリー・コレル (1926.6.16 米)

伝道師 マルタ 榎内 晰子 (1946.6.18)

司 祭 ベニヤミン 東 信行 (1943.6.19)

司 祭 牧岡 鉄弥 (1919.6.20)

司 祭 ルイス・パーキンソン・ヒル (1943.6.22 英)

宣教師 エデイス・メアリー・バーナウ (1944.6.29 英)

主 教 横田 道信 (1946.6.29)

宣教師 アリス・マリアン・コックス (1949.6.29 英)

司 祭 ヨハネ 荒木 久雄 (1988.6.30)

司 祭 パウロ 水谷 博彦 (2008.6.30)

*教役者逝去記念聖餐式は、原則毎月第2水曜日午前 10 時 30 分から、主教座聖堂 (川口基督教会) で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

- 大阪聖愛教会
ヨナタン 武内 善彦 (4月2日・81歳)
- 大阪聖ヨハネ教会
アンナ 和田 明子 (3月27日・80歳)
- 聖ルシヤ教会
司祭 ヨハネ 山根 貞夫 (3月22日・90歳)
- 芦屋聖マルコ教会
イサク 瓶子 飛鳥 (2月28日・31歳)
- 守口聖オーガスティン教会
ルデヤ 三口 殿恵 (3月30日・88歳)
- 川口基督教会
ステパノ 米村 邦稔 (2月19日・88歳)
- 高槻聖マリヤ教会
ユスト 横山 高治 (1月17日・86歳)
- 高槻聖マリヤ教会
ステパノ 米村 邦稔 (2月19日・88歳)
- 高槻聖マリヤ教会
マリア 岡崎 昌子 (2月19日・87歳)
- 高槻聖マリヤ教会
ルデヤ 三口 殿恵 (3月30日・88歳)
- 守口聖オーガスティン教会
イサク 瓶子 飛鳥 (2月28日・31歳)
- 芦屋聖マルコ教会
司祭 ヨハネ 山根 貞夫 (3月22日・90歳)
- 聖ルシヤ教会
アンナ 和田 明子 (3月27日・80歳)
- 大阪聖愛教会
ヨナタン 武内 善彦 (4月2日・81歳)

祝 受 洗



- 芦屋聖マルコ教会
ハンナ 宮原 幸 (3月30日)
- 大阪聖ヨハネ教会
ルシア 小泉 範子 (4月1日)
- 大阪聖愛教会
ガブリエラ モーセ 中尾 愛心 華 (4月1日)
- 大阪聖愛教会
ガブリエラ モーセ 中尾 愛心 華 (4月1日)

○ 大阪聖アンデレ教会
パウロ 藤原 康城 (4月1日)

○ 大阪聖ヨハネ教会
ルシア 小泉 範子 (4月1日)

祝 初 陪 餐



- 恵我之荘聖マタイ教会
トマス 広海 泰次郎 (4月1日)
- 高槻聖マリヤ教会
アグネス ヨセフ 太田 祐子 (4月1日)
- 大阪聖ヨハネ教会
ルシア 小泉 範子 (4月1日)
- 大阪聖愛教会
ステパノ 米村 邦稔 (2月19日・88歳)
- 大阪聖アンデレ教会
パウロ 藤原 康城 (4月1日)
- 石橋聖トマス教会
テレジア 原田 ひより (4月1日)

○ 高槻聖マリヤ教会
アグネス ヨセフ 太田 祐子 (4月1日)

○ 高槻聖マリヤ教会
ステパノ 米村 邦稔 (2月19日・88歳)

祝 受 按



○ 恵我之荘聖マタイ教会
トマス 広海 泰次郎 (4月1日)

魂の平安を
祈ります

